

Deep Research 機能比較 (OpenAI, Gemini, Genspark, Felo AI)

プラットフォーム	OpenAI	Google Gemini	Genspark	Felo AI
主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> - o3推論モデルを活用した高度な推論能力 - マルチステップの研究計画を自動生成 - 数十の情報源を統合し、詳細なレポートを作成 	<ul style="list-style-type: none"> - Gemini Advanced 1.5 Proで利用可能 - 長い文脈を処理し、複数の情報源を分析 - レポート生成に5~10分 	<ul style="list-style-type: none"> - 複数のAIモデルを統合した自律型エージェント - 市場調査やビジネスインテリジェンスに特化 	<ul style="list-style-type: none"> - 高品質な情報収集と多言語対応 - 深い検索意図の解釈とパーソナライズされた結果提供
強み	<ul style="list-style-type: none"> - 高度な推論能力で複雑なトピックを深く分析 - 学術レベルに近いレポート品質 - 強力なデータ統合能力 	<ul style="list-style-type: none"> - Google検索との統合で迅速かつ正確な情報収集 - マルチモーダル対応 (テキスト、画像、音声など) 	<ul style="list-style-type: none"> - 大規模データセットの迅速な処理 - 無料トライアルあり - 簡潔なインサイト提供 	<ul style="list-style-type: none"> - 広範なデータソースからの信頼性の高い情報収集 - 広告やバイアスの排除で純粋な検索体験を提供
制限	<ul style="list-style-type: none"> - 高額 (月額\$200のProプラン限定) - 初期段階であり、誤情報や出典の信頼性に課題 	<ul style="list-style-type: none"> - 深度がOpenAIに劣る場合あり - 一部の情報源の信頼性に課題 	<ul style="list-style-type: none"> - 分析の深さが不足する場合あり - 出力の一貫性に課題 	<ul style="list-style-type: none"> - 他のプラットフォームに比べてレポート生成の自動化 - 学術的な深度には限界
適した用途	<ul style="list-style-type: none"> - 学術研究 - 公共政策やエンジニアリング分野の専門的調査 	<ul style="list-style-type: none"> - ビジネスインテリジェンス - 高速な情報収集が必要な場面 	<ul style="list-style-type: none"> - 市場調査 - 戦略的意思決定のサポート 	<ul style="list-style-type: none"> - 多言語検索 - 信頼性の高い情報収集

(Felo AIまとめ)

Deep Research 機能比較 (OpenAI, Gemini, Genspark, Felo AI)

観点	OpenAI (ChatGPT) Deep Research	Google Gemini Deep Research	Genspark Deep Research	Felo AI Deep Research (「Deep Search」機能)
リサーチの精度 (情報の正確性・網羅性)	最先端モデルの強力な推論力により、情報の正確性・網羅性が非常に高く、PhDレベルの深い分析が可能と評されています。複雑なトピックでも多角的に検証された詳細な回答を生成します。	広範なウェブ情報を高速で収集し、誤りの少ない安定した要約を提供します。ただし分析はやや表面的で、人間の専門的洞察には及ばない（「優秀な学部生」程度のレベル）との評価です。	複数モデルを駆使して包括的な調査を行います。結果の品質は玉石混交です。主要な項目は詳細にまとめられる一方、関連性の低い情報まで収集してしまうケースも見られます。	多言語対応AI検索として信頼性の高い情報源から正確かつ網羅的な回答を得ることを目指しています。6710億パラメータの高性能モデルを搭載し、数学やコードを含む高度な質問にも対応可能で、学術的な内容の理解にも優れています。
データソース (基礎データや参照元)	インターネット上の公開情報を自律的に収集・読解し、多岐にわたる文献やWeb情報を統合します。他のツール同様に有料論文などの非公開コンテンツにはアクセスできず、この点が調査範囲の制約となります。	Googleの検索インデックスを活用し、一度に多数のサイトをクロール・参照します。しかし有料記事や非公開データにはアクセスできないため、レポートの網羅性に制限があります。	エージェントがウェブ上の数百もの情報源を自動でクロールし、その内容を要約・統合してレポート化します。基本的に公開Web情報が対象で、有料サイトの情報は含まれない点は他と同様です。	世界中のウェブ情報に加え、各国の学術論文や業界レポートまで横断検索します。独自のエージェント技術で最新のデータにアクセスし、多言語間でも自動翻訳により必要な情報を取得します。
更新頻度 (モデル/データのアップデート)	2025年2月に登場した新機能で、OpenAIの次世代モデル（コードネーム:o3）を採用しています。今後も継続的にモデル改良が進められる見込みですが、アップデートの具体的な頻度は未公表です。	2024年12月にGemini 2.0の一部としてリリースされました。GoogleはAIモデルを継続的にアップデートしており、このDeep Research機能もGeminiのモデル進化（例：Gemini 1.5→2.0）に合わせて改善が続けられています。	2025年1月末に「Deep Research」エージェントが公開された新興サービスです。GPT-4やClaudeなど外部AIを活用しているため、これら基盤モデルの更新やサービス側の改良によって機能が向上していくことが期待されます。	2024年9月のサービス開始以降、同年10月に新機能「Deep Search」を導入し、2025年2月には高精度推論モデルDeepSeek R1を追加しています。短期間に機能強化を重ねており、今後も迅速なアップデートが見込まれます。
価格(プランと料金体系)	現在はChatGPT Pro（月額\$200）の加入者限定機能です。（※PlusやTeamsプランでも将来的に利用可能になる予定。）非常に高額なプレミアム機能となっています。	Gemini Advanced（月額\$19.99）の有料プラン加入者が利用可能です（初月無料体験あり）。OpenAIに比べると手頃ですが、無料プランは存在しません。	基本機能は無料で提供されており、全ユーザーが一定回数はDeep Researchを試用できます。より多く利用したい場合や追加機能を使うには有料のGenspark Plus（月額課金、招待経由で1ヶ月無料）への加入が必要です。	プレミアムモデルを採用しており、基本機能は無料で利用可能です。競合に比べ無料で使える高度機能が多く提供されている点が特徴で、ヘビーユーザー向けにプレミアムプランも用意されています。
ユーザーインターフェース(使いやすさ・提供形態)	ChatGPTのインターフェース上で質問入力時に「Deep Research」モードをオンにして利用します。対話形式で詳細な調査結果が返答される形で提供され、チャット内で完結してレポートを得られます。	GoogleのAIチャット（Gemini/Bard）画面から利用でき、モデル選択で「Deep Research」モードを指定して質問します。短時間で多数の出典リンク付き要約レポートが画面に表示され、インタラクティブに閲覧可能です。	Gensparkサイト上の「Agents」ページからDeep Researchエージェントを選択し、調査タスクを入力して開始します。AIが調査プランを自動生成しユーザーが編集・承認した後に実行され、約20分後にマインドマップや表を含む詳細レポートが生成・提供されます（結果は登録メールにも送付）。	従来型の検索エンジンに近いシンプルなUIで、Webやスマホアプリから手軽に利用できます。質問を入力するとリアルタイムに回答が表示され、結果をマインドマップで可視化したり、トピックコレクションに保存して後で深掘りすることも可能です。
APIの有無(外部連携可否)	専用APIは未提供で、ChatGPTのUI経由でのみ利用可能です。外部アプリから直接この機能呼び出すことはできません。	Geminiモデル自体はAPI提供されていますが、Deep Researchエージェント機能を直接利用できる公開APIはありません（現状UI上でのみ利用可能）。	開発者向けの公開APIは用意されておらず、Gensparkプラットフォーム上での利用に限定されています。	一般公開されたAPIはありません。サービスはウェブやアプリでの対話利用を前提としており、外部システムから直接問い合わせる機能は提供されていません。
特徴的な機能 (強みやユニークさ)	強力な推論モデルを用いて自律的に調査計画を立て、関連情報を徹底的に探索・統合する高度なエージェント機能が特徴です。いわゆる「好奇心駆動」のアプローチで必要に応じ深掘りしながら調査を進め、PhD研究者に迫る分析レベルのレポートを自動生成します	Googleならではの高速Webクロールで膨大な情報源を即座に集約できる点が強みです。さらに自動生成された複数ステップの調査プランをユーザーが修正・承認できる仕組みがあり、計画的かつ効率的にリサーチを進められます。	複数のAIモデル（GPT-4、Claude 3.5、Geminiなど）の協調動作によるユニークな調査方式を採用しています。結果レポートには自動生成のマインドマップや比較表が含まれ、膨大な情報を直感的に把握しやすい工夫がされています。何より基本無料で使える点も大きな利点です。	多言語・学術分野に強く、言語の壁を越えて世界中の情報を取得できる点で他にない価値を提供します。また検索結果のマインドマップ自動生成や、Twitterで質問を投げただけで回答が得られるSNS連携機能など、豊富な独自機能を備えています。
向いている用途 (想定ユーザーや分野)	高度な分析が求められるビジネスインテリジェンスや学術研究の補助に最適です。費用は高いものの、その分最も強力なAIリサーチャとして評価されており、専門的で複雑な調査を短時間でこなしたい企業や研究者向けと言えます。	手早く網羅的に情報収集したいビジネス調査やニュースリサーチに向いています。短時間で整ったレポートを得られるため、市場動向の概観把握など深い考察より迅速なサマリーが求められる用途で効果を発揮します。料金も比較的安価なので専門研究から一般情報収集まで幅広く利用できます。	コストをかけず調査を自動化したい場合に適しています。競合分析や市場リサーチなど大量の情報から概況を掴む用途に向いており、エージェントに任せれば従来数日かかるリサーチも短時間で済ませられます。ただし重要な調査では内容の検証や補足が必要なため、下調べの初期段階や概略把握に活用するのが望ましいでしょう。	言語や分野を問わず幅広い情報にアクセスしたいユーザー全般（一般利用者～研究者）に適します。特に多言語の学術文献調査や各国の市場動向分析を行う学生・研究者にとって有用で、無料で強力な検索エンジンを活用したいユーザーに幅広く恩恵があります。